

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 12 日

事業名称		庁舎管理費 [節電対策]							
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 6	財産管理費	事業番号	1	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	総務管財		課		庶務		係	課長名	宮田 智雄
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	行 - 2	
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現							総合計画書 (ページ)	122	
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)				
	庁舎での電気の使用量 →				電力量(kWh)				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)				
	電気の使用量を前年と比較して削減する。 →				前年と比較した電力量の割合 (当年度の電力量/前年度の電力量) × 100%				
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)				
	①空調の起動抑制 ②空調の設定温度を夏は28℃、冬は19℃に設定 ③クールビズ、ウオームビズの推進 →				①夏季は室温が28℃以上、冬季は服装で調節し適宜起動 ②③クールビズは5月～10月、ウオームビズは12月～3月				
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	
	対象指標	①の数値	kWh	677,303	720,735	823,203			
	成果指標	②の数値	%	99.0	94.0	87.6			
	目標	②の目標値	%	95.0	95.0	95.0			
目標値設定の考え方 事務に支障がない程度で電力量の削減に努める。									
3 経費	事業費(実績)		円	13,699,829	14,848,442	14,572,372	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	一般財源		円	13,699,829	14,848,442	14,572,372			
	特定財源(国・都・他)		円	0	0	0			
	(うち受益者負担)		円	0	0	0			
	所要人数(再任用以外)		人	5時間	5時間	5時間			
	所要人数(再任用)		人	0.0	0.0	0.0			
	職員人件費(再任用以外)		円	21,500	21,500	21,500			
	職員人件費(再任用)		円	0	0	0			
事業費+人件費		円	13,721,329	14,869,942	14,593,872				
4 環境変化等	(1) 開始年度		不明						
	(2) 環境の変化 ・平成23年の東日本大震災により、東京電力の発電所に大きな被害が発生したことから、電力供給の安定化に資するために開始した。また、地球温暖化の防止や経費の削減も目的としている。 ・不用電灯の消灯や、空調のコントロールにより節電対策開始当初より使用電力が削減された。また、PPSの導入及び電力自由化の活用で、電気料金も削減された。 ・例年通り節電対策を実施しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、季節を問わず、窓を開けた換気を行った。換気の影響で室内温度が適温でなくなり、空調機を常にフル稼働させる必要が生じたため、夏場及び冬場については、例年に比べ電気使用量が上昇した。								

事業名称	庁舎管理費 [節電対策]				
担当部署・課長名	総務管財	課	庶務	係	課長名 宮田 智雄

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について クールビズを推進しているところではあるが、市民から庁舎内が暑いという意見が多々あった。 令和2年度は特に、新型コロナウイルス感染症対策で、夏場（及び冬場）の冷温水発生機を使用する季節に、窓を開けた換気をしたため、上記意見が多かったとみられる。 換気のたびに室内温度が適温でなくなり、空調機を常にフル稼働させる必要が生じたため、夏場（及び冬場）については、例年に比べ電気使用量が上昇した。				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）				
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：			
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 特になし				
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 節電のための取り組みをより一層推進させる。 使用電力を抑制しつつ良好な環境を維持するには、電気・空調・給排水設備の計画的な更新が必要である。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 例年のクールビズ、ウォームビズ対策の実施。 空調については、庁舎冷温水発生機基本設計委託を実施し、空調機更新に向けた計画を進めた。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 令和2年度に実施した、庁舎冷温水発生機基本設計委託をベースとした、空調設備更新工事実施設計委託を活用し、効果的な節電対策を行える設備設計を目指す。				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 効率的でスリムな行財政運営の実現 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 庁舎トイレ照明の人感センサー化と照明器具のLED化への移行に伴い、消費電力の軽減に向けたモデルとしていく。				
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				